一般社団法人 大学コンソーシアム熊本

令和８年度 第１回教育のあり方に関する協議会議事要録

１．日　時　　令和 ８ 年 ７ 月 １６ 日（木）　１３時００分から１４時００分

２．開催方法　オンライン会議（Zoom）

３．出席者

講　師　　岡安　亮（株式会社ベネッセ i-キャリア　教育事業本部 大社接続営業部 部長」兼「まなぶとはたらくをつなぐ研究所 所長」）

出席者　　古閑　陽一（企画・運営委員長：熊本保健科学大学）、藤本　慎司（九州看護福祉大学）、西川　毅（九州ルーテル学院大学）、西村 明博（熊本学園大学）、森平　健一（熊本県立技術短期大学校）、山田　俊（熊本県立大学）、富田　博明（熊本高等専門学校）、河瀬 晴夫（熊本保健科学大学）、礒塚 光雲（尚絅大学・尚絅大学短期大学部）、長島 宏一（崇城大学）、緒方　道郎（東海大学）、宇都 香織（平成音楽大学）、坂本　尚史（代理：熊本県）、鈴木　健悟（代理：熊本市）、大谷 順（国際交流部会長）、平緒　泰弘（地域創造部会長）、草原 俊明（熊本県教育庁）、永田　佳子（熊本経済同友会）

欠席者　　金岡　省吾（熊本大学）、内山 裕二（放送大学熊本学習センター）、三枝 敬明（学生教育部会長）

陪席者　　高島　和希（熊本県立技術短期大学校）、山下　将史（熊本県立大学）、林　健司（熊本高等専門学校）、竹屋　元裕（熊本保健科学大学）、坂田　敦子　西山　弘樹　吉田　貴（尚絅大学・尚絅大学短期大学部）、木之内　均（東海大学）、北原　清楓（熊本県）、清﨑 洋介（熊本県教育庁）

事務局　　木下　聖一（事務局長）、栂尾由紀子（次長）

４．講　演

（１）　最初に議長から株式会社ベネッセ i-キャリア　教育事業本部 大社接続営業部 部長」兼「まなぶとはたらくをつなぐ研究所 所長」の岡安　亮氏から「「初等中等教育の変化を踏まえ、いま求められる「教育の在り方」とは」という演題での講演の後、意見交換の時間を設け、その後、企画・運営委員会を開催する旨の発言があった。

演題：「初等中等教育の変化を踏まえ、いま求められる「教育の在り方」とは」
講師：株式会社ベネッセ i-キャリア　教育事業本部 大社接続営業部 部長」兼「まなぶとはたらくをつなぐ研究所 所長」　岡安　亮　氏

５．「初等中等教育の変化を踏まえ、いま求められる「教育の在り方」とは（講演）」についての質疑応答

（委員長）

「学修者本位の教育」については、各大学でも創意工夫をしながら取り組んでいるところが多いと思うが、具体的にさらに展開するためにはどうすればよいか、

（岡安氏）

学内データ、客観データ、主観データをしっかりと把握し、それをもとに議論することで、自身の大学の強みや他大学との差別化を作っていくことが大事だと思う。それにより、大学に求められていること、自身の大学をどう伸ばせるかということが明確になり、学修者に求められていること（ニーズ）と実行が一致してくる。

（河瀬委員）

もともと高校現場では、定期試験の中で、思考力、判断力、表現力をそれぞれ問う問題があり、そういう形での資質能力評価であったと思うが、その時以上に定期試験の意味合いが変わってきて

いるのか。

(岡安氏)

そのとおりである。そのような学校もあるが、定期テストはそうしつつ、「知識・技能」は単元テストが、「思考力・判断力・表現力」は定期テストが完全に見るといった形にしているケースが増えてきている。相対的に定期テストというものに対するウエイトが下がってきている傾向がある。

(河瀬委員)

高校で、中間テストだけでなく定期試験を全て廃止したという事例があるのか、そういう傾向があるのか？

(岡安氏)

本当に一部の私立高校で、完全に定期テストをやっていないという学校はある。多くの学校は中間を止めても期末は残すというところがある。定期テストの廃止まで大胆なものを望んでいないケースもあり、折衷案として中間テストの廃止が増えていると思う。

以　上